

上中里・氷取沢地区 小規模校再編検討委員会ニュース

第 8 号

平成18年 3月 1日

発行：検討委員会事務局

平成18年 2月 6日 第 8 回検討委員会開催

～ 今回をもって検討委員会は終了 ～

今回は、統合校の学校名、通学安全、意見書の内容について議論しました。

統合校の学校名は、検討委員会の案として「さわの里小」とするとともに、意見書の内容について話し合い、まとめました。

これにより、すべての検討項目は終了し、昨年6月から8回にわたって開催された本検討委員会は今回をもって終了しました。



畠中委員長(左)から教育長に意見書提出
(平成18年 2月20日)

統合校の学校名案 「さわの里小学校」と決定

統合校の学校名については、前回の検討委員会で「磯子みなみ」「上笹下」「さわの里」「茅野台」「たけのこ」の5案の中から選定することとしました。このうち、「たけのこ」は他区に幼稚園や学童クラブがあることから、今回、候補からはずし、残りの4案から検討しました。

議論の中で、話し合いでは案を一つに絞ることが難しいという結論に至り、委員全員の同意のもと投票により決めることとしました。

投票の方法は、出席委員のうち校長・副校長を除く17人により行い、過半数(9票)に達した場合はその案に決定し、過半数に達しなかった場合は上位2案で決選投票をすることとしました。

第1回目の投票では、「さわの里」と「磯子みなみ」が6票、「上笹下」が5票、「茅野台」が0票となり、いずれも過半数に達しなかったため、上位2案の「さわの里」と「磯子みなみ」について決選投票を行った結果、「さわの里」が11票、「磯子みなみ」が6票となりました。

このことから、統合校の学校名案は検討委員会として「さわの里」を選定することとしました。

統合校の学校名についての主なご意見

「磯子みなみ」に関するご意見

「磯子みなみ」は、温かいイメージがあるのでいいと思う。

「上中里」と「氷取沢」の名前を残すという考え方ではなく、新しくスタートするという考え方で「磯子みなみ」がいいと思う。

「上笹下」に関するご意見

「上笹下」は、学校がどこにあるか見当がつくし、自治会等の地域活動も「上笹下」の名称で行っているのでいいと思う。

「上笹下」は、かなり広い地域を表し、上中里と氷取沢だけの名称ではないので、あまりふさわしくない。

「上笹下」については、「笹下 = 港南区」のイメージが強く「上笹下 = 磯子区」とは結びつかない。

「さわの里」に関するご意見

両校の名前を取っていること、大岡川の源流の意味を含めた名前でも聞こえもいことから「さわの里」がいいと思う。

「さわの里」は、所在地のイメージがつかめない。

「さわの里」だと所在地が分からないという意見があるが、「上笹下」も分かるのはここに住んでいる人だけだと思う。そういう意味では「さわの里」も「上笹下」も同じだと思う。

「さわの里」は、柔らかいイメージがあって、小学校としてやさしい学校のイメージが湧いてくる。子どもたちには、地域の特性を生かして自然の中で活動して行ってほしい。そうなると大岡川の源流においての活動はとて多いと思うし、「沢」は子どもたちに馴染みのある場所なので、「さわの里」がいいと思う。

「茅野台」に関するご意見

両校が統合するのに「茅野台」では上中里の部分しか感じられない。

昔からの呼称であれば「茅野台」も地域を限定する形で定着すると思うが、そうでなければなかなか難しい。

「茅野台」は、今ここで生まれ育った子どもにとってはピンとこないと思う。

全体的なご意見

例えば「磯子みなみ」という名前で、磯子の南という意識を持って子どもたちが学校生活を送るのか、「さわの里」という名前で大岡川の源流をイメージして学校づくりをしていくのかなど、そういう部分が大事ではないかと思う。学校の取組の中で、子どもたちが校名の由来と自分の学校にどのように愛着を持っていくかということ考えていったらいいのではないかと思う。

どのような名前をつけても最終的には、子どもたちのふるさとの名前になるのだと思う。「さわの里」という名前を使っていれば、この辺は「さわの里小」の地域になるし、「磯子みなみ」といったらそのイメージが定着していく。固定観念を持たず、自分たちがイメージを膨らませることができるものとして考えたらどうかと思う。この地域はこういう「地名だから」ではなくて、このようにしたいといったイメージで考えたらどうか。

「学校を創る」ということは理念が大事。校名の由来を考えた場合、両校の一字を取ったということではなく、「自然を愛し、人間性豊かな子どもになるという願いを込めて」ということからつけましたというような大事な部分を入れていただきたい。

再編統合に関する 意見書

検討委員会委員長から教育長へ提出

～ 今後、教育委員会、市会の議決を経て正式決定へ ～

今回の検討委員会では、これまでの検討内容を踏まえ、両校の再編統合に関する意見書を取りまとめ、平成18年2月20日に検討委員会委員長から教育長に提出されました。

今後、上中里小と氷取沢小の再編統合については、教育委員会の議決を経て、市会に提案し、議決されれば正式決定することになります。

なお、意見書の内容は、次のとおりです。

平成18年2月20日

横浜市教育委員会
教育長 伯井 美德 様

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会
委員長 畠中 正夫

上中里・氷取沢地区の小規模校の再編に関する意見書

はじめに

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、磯子区上中里・氷取沢地区の小規模校の再編について検討するため、昨年6月に設置されました。

平成17年6月26日から8回にわたり、小規模校再編に係る諸課題を検討し、これを取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

1 小規模校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

上中里・氷取沢地区の児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化している同地区の上中里小学校と氷取沢小学校の2校を再編統合すべきである。

(2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の上中里小学校が適当と考える。

イ 再編統合の時期は、平成19年4月とする。

ウ 再編統合により新たにスタートする学校にふさわしい教育環境を確保する観点からも、必要な施設整備に配慮願いたい。

2 通学区域変更案

(1) 小学校の通学区域

通学区域は現在の上中里小学校、氷取沢小学校の通学区域を一体とした区域を再編統合校の通学区域とすることが望ましい。

(2) 中学校の通学区域

統合校の中学校の通学区域については、次の取扱いとするよう配慮願いたい。

ア 現在の上中里小学校の通学区域は、現行どおり「浜中学校」の通学区域とする。

イ 現在の氷取沢小学校の通学区域は、現行どおり「富岡中学校」の通学区域とする。ただし、希望により「浜中学校」を選択できる特別調整通学区域を設定する。

ウ 特別調整通学区域の設定は、統合校の最初の卒業生が中学校に就学する平成20年度からとする。

3 統合校の学校名

統合校の名称は、「さわの里小学校」とすることが適当である。

4 通学安全要望

現在の上中里小学校及び氷取沢小学校は、比較的近接した場所にあり、また、通学路も歩道が整備されている同じ道路の延長線上にあることから、他地区に比較すると通学安全上の大きな問題はないものと考えられる。

今後、統合後の通学区域の児童の登下校を想定し、2小学校の学校関係者や地域の代表により、通学上の安全について引き続き検討し、必要があれば、土木事務所、警察等の関係機関に申し入れを行うが、その際には、小規模校の再編統合という事情も配慮し、教育委員会、区役所等横浜市関係機関は、最大限の協力を願いたい。

5 その他小規模校再編に当たっての要望

(1) 統合までの期間においては、両校で「新しい学校を創造する」という考え方に基づき、交流事業や統合校の教育目標の設定等を進めていただき、統合校への円滑な移行を促進していただきたい。

(2) 統合校の円滑な運営及び環境変化に児童が順応できるよう、統合校の教職員はできるだけ両校の教職員を配置するなど配慮していただきたい。

(3) 統合校では、「上中里・氷取沢地区」の新しい学校にふさわしい、学校の特色づくりを進めていく上で、地域特性を活かした体験学習や「どんど焼」等の伝統的な行事の継続など配慮していただきたい。

(4) 検討委員会では、「国語教育の充実」や「地域特性を活かした教育活動」などに期待する意見があり、両校の校長以下教職員が地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も必要な支援を行うよう配慮されたい。

(5) 今までそれぞれの学校で行っていた行事等については、地域や保護者の要望を踏まえ、継続していただきたい。

(例) 縦割グループによるオリエンテーリングや交歓給食、ウインターコンサートなど地域や近隣の学校・幼稚園との交流、読み聞かせ会、特別クラブ(ブラスバンド、バスケットボール、サッカー)への支援、ボランティア活動(美化推進グループ)の支援、自校炊飯

6 おわりに

横浜市は「『まち』とともに歩む学校づくり」をすすめている。上中里・氷取沢地区においても、両校の統合を契機に、生き生きと学び集う子どもはもとより、保護者も含め、地域住民による学援隊活動の拡充や様々な学習活動への参画など、学校との連携・協力体制をより一層推進していきたいと考えている。

横浜市においても、地域住民との協働を推進し、当地区がより良い街となるよう各種事業を推進されるよう要望する。

氷取沢小下の空きビルについて

前回、ご意見のあった氷取沢小下の空きビルの防犯上の対応策については、同ビルが私有財産であるため、行政が法的強制力を行使して対応することは不可能で、柵の設置等を所有者に依頼して行かざるを得ません。当面の対応策としては、現在、磯子警察署に下校時間帯の巡回パトロールをしていただいておりますが、このほかに 登下校時に該当箇所に教員を配置する、 児童生徒パトロールについては小中高の関係6校で対応を検討していく、 地域の方々も含めた防犯上の取組として対応していただく必要があることを事務局から説明しました。

また、地域代表の委員から学援隊活動の中で、見回り箇所の拡充などの対応を検討していくとの発言がありました。



今回の検討委員会をもって「上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会」での検討を終了しました。これまでご協力いただきました地域・保護者の方々にお礼申し上げます。平成19年4月から新しくスタートする「さわの里小学校」をよろしく申し上げます。

横浜市教育委員会から再編統合についての説明会のお知らせ



検討委員会から再編に関する意見書を提出いただいたことに伴い、上中里小学校と氷取沢小学校の通学区域にお住まいの方々を対象に、再編統合に関するこれまでの経過と今後の進め方について、説明会を開催します。是非、ご参加ください。

日時：平成18年3月19日（日）午前10時から 場所：氷取沢小学校体育館

ホームページのご案内

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

小規模校再編検討委員会について、ご意見をいただきありがとうございました。

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局学校計画課 F A X : 045-651-1417 電話 : 045-671-3252